

里塚霊園全体図

清田区里塚506番地 883-1561

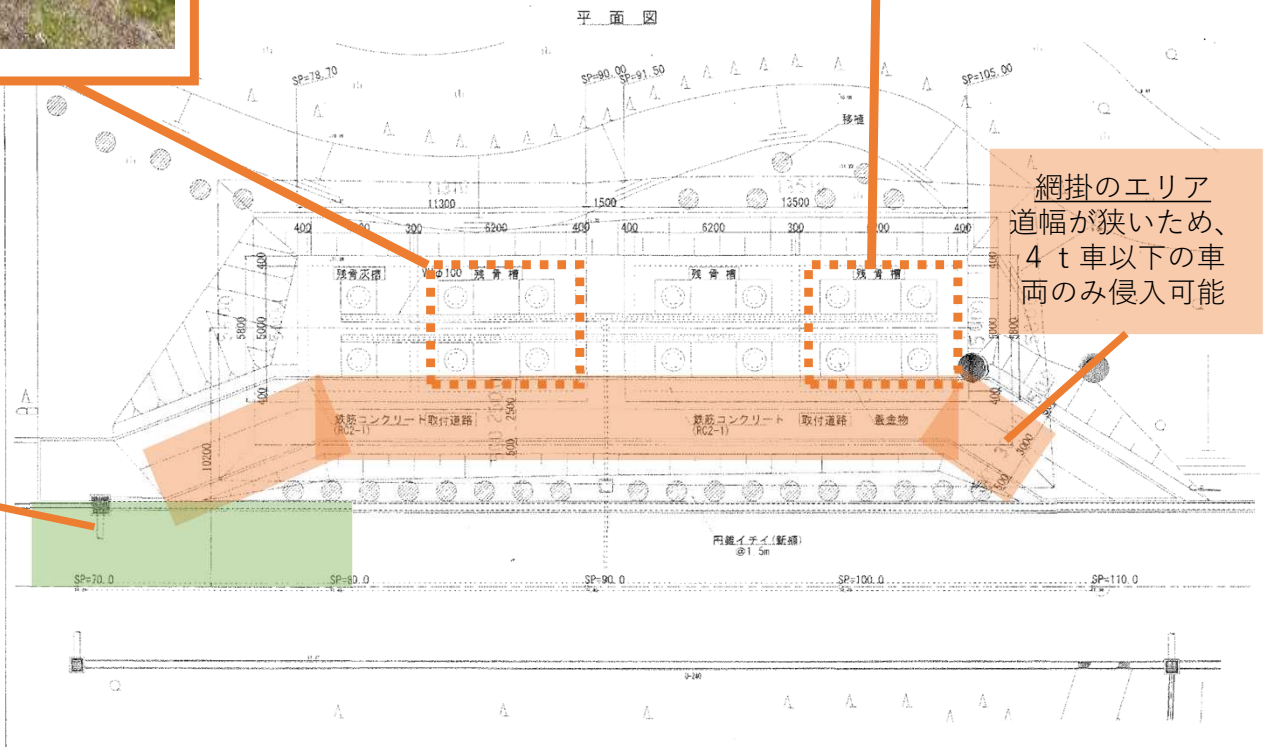


回収する残骨灰槽（現在使用中）
※10年程度使用、満杯近い



返却後の残骨灰を埋蔵予定の残骨灰槽
（未使用）

残骨灰埋蔵槽一般図
S=1:100



網掛けのエリア
4 t 車から10 t 車への積替可能
ただし、片側は車両が通行できる
幅員を確保すること。

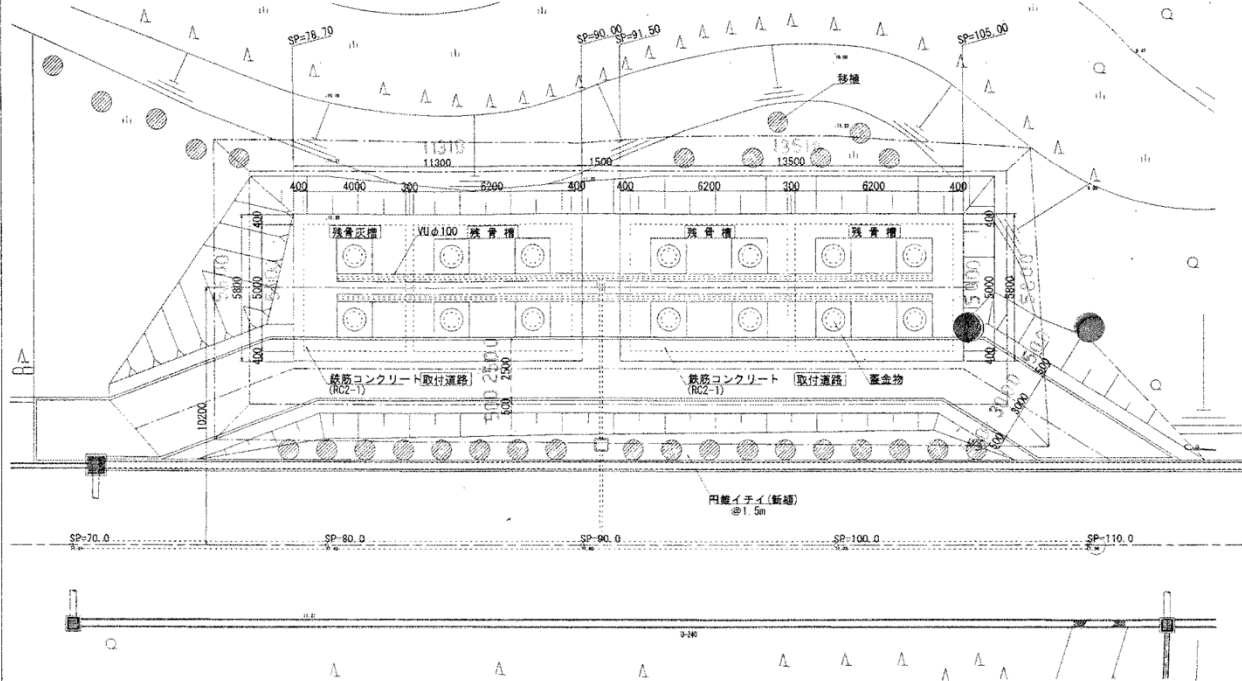
網掛けのエリア
道幅が狭いため、
4 t 車以下の車
両のみ侵入可能

※残骨灰槽は、コンクリートの遮断型（廃棄物最終処分場の遮断型と同等の構造を有している。）

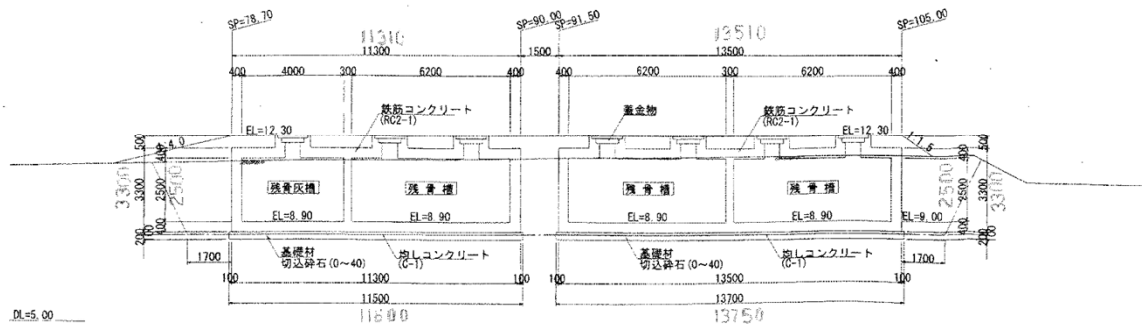
残骨灰埋蔵槽一般図

S=1:100

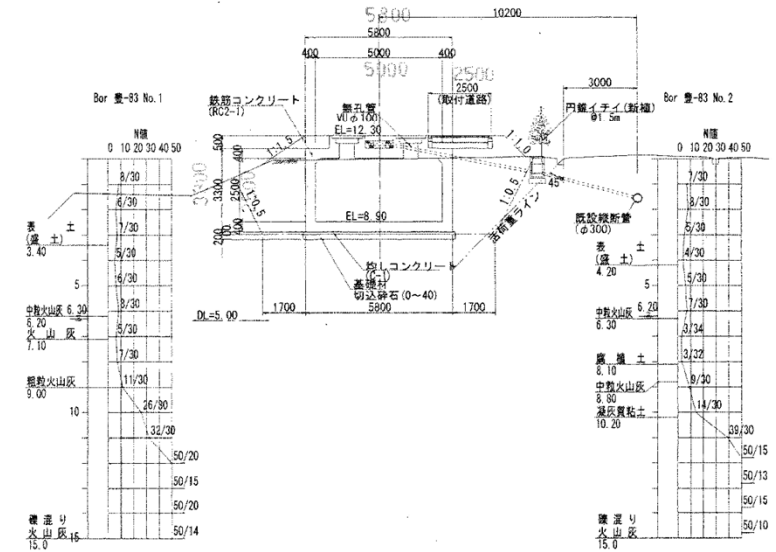
平面図



側面図



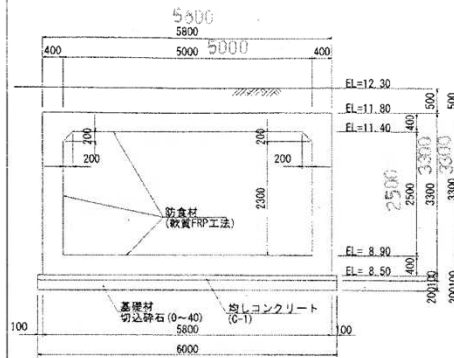
断面図



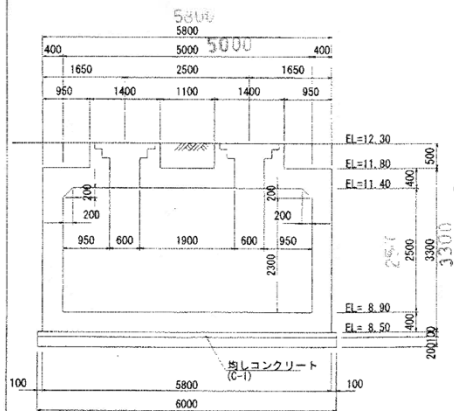
残骨灰埋蔵槽構造図(1)

S=1:50

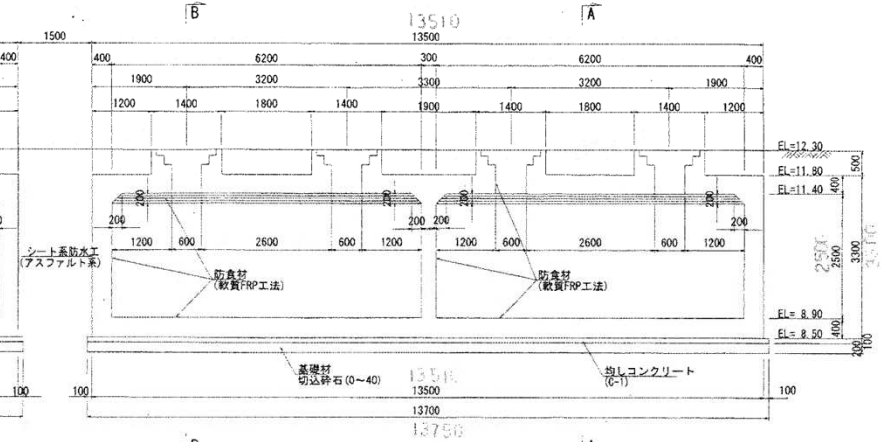
A-A断面



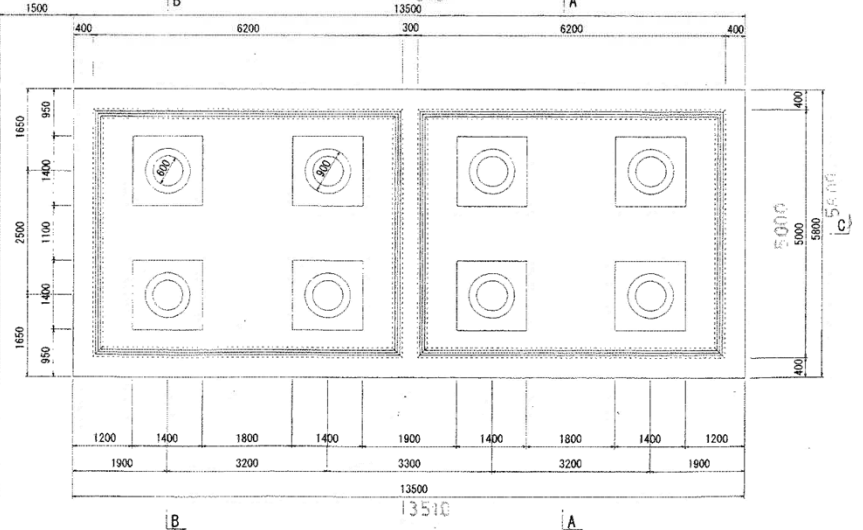
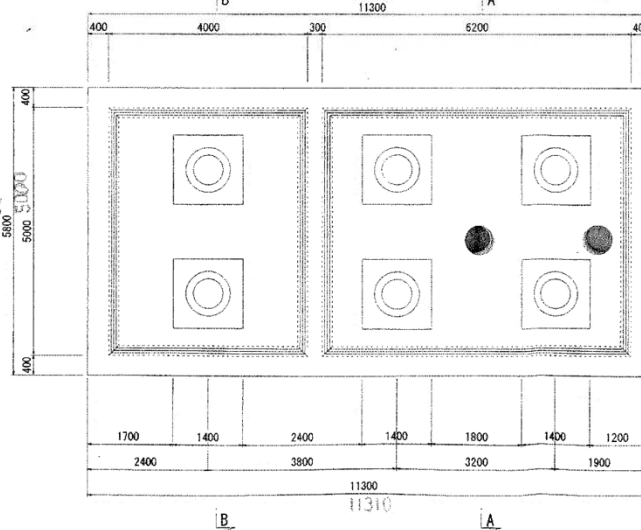
B-B断面



C-C断面



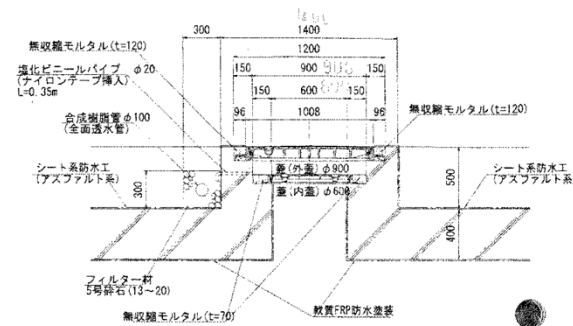
平面図



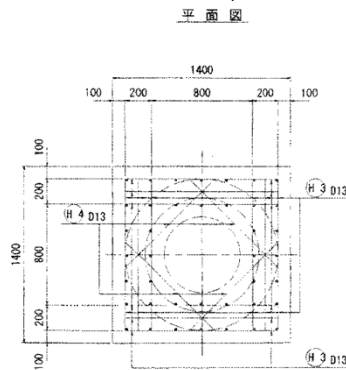
残骨灰埋蔵槽構造図(2)

S=1:20

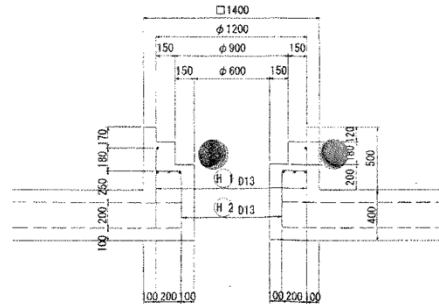
開口部詳細図



開口部補強鉄筋配筋図

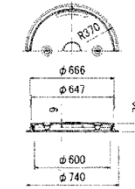


断面図



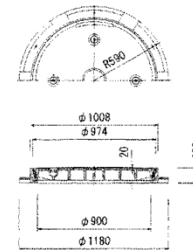
蓋(内蓋)φ600 詳細図

密閉型マンホールカバー
(完全防水型、難付)



蓋(外蓋)φ900 詳細図

密閉型マンホールカバー
(完全防水型、難付)



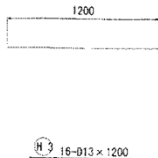
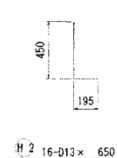
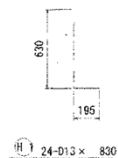
鉄筋重量表

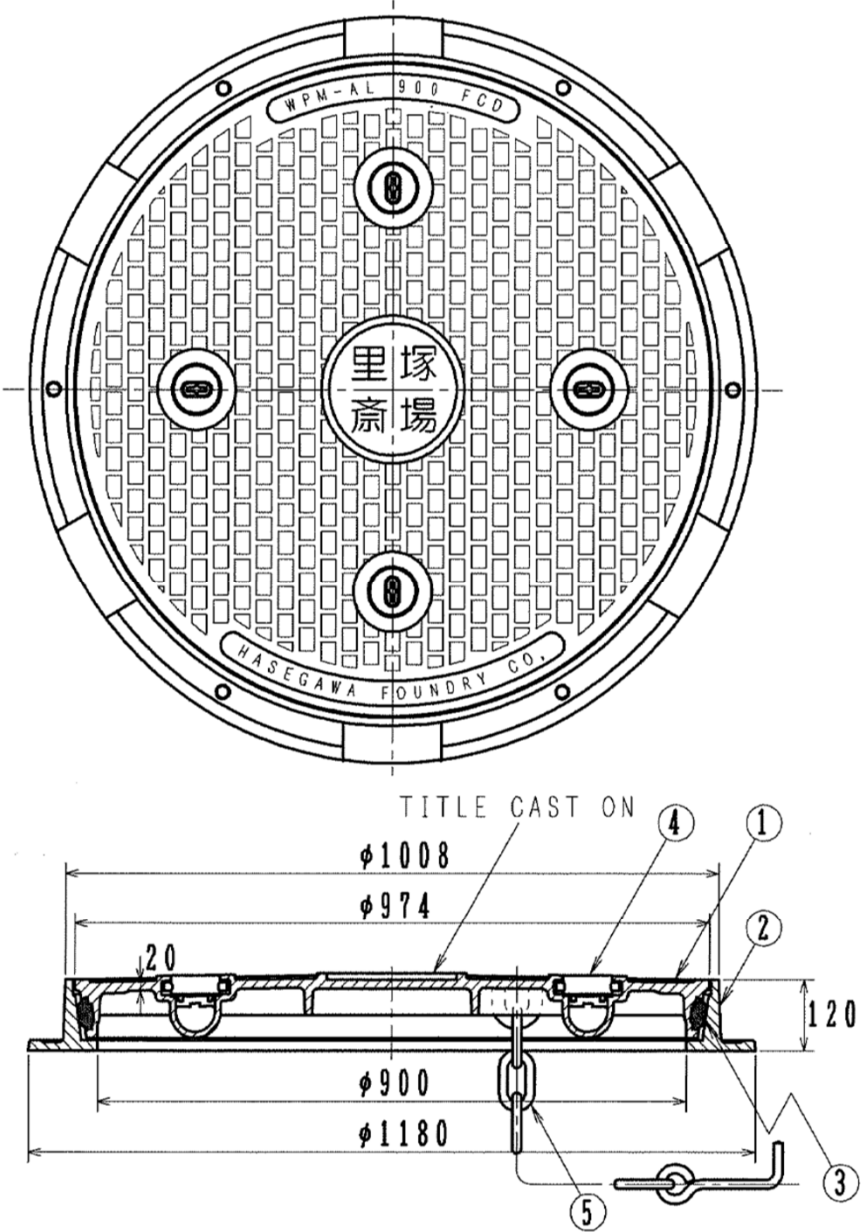
記号	径	長さ (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	1本当り重量 (kg)	重量 (kg)	摘要
H 1	D13	830	24	0.995	0.826	20	
H 2	D13	650	16	0.995	0.647	10	
H 3	D13	1200	16	0.995	1.194	19	
H 4	D13	990	4	0.995	0.988	4	
1箇所当り重量						53 kg	
鉄筋重量計 (14箇所)						742 kg	

鉄筋加工・継手寸法表

径	a (mm)	b (mm)	c (mm)	R (mm)	L (mm)
D13	66	164	230	42	410

国土交通省標準設計より





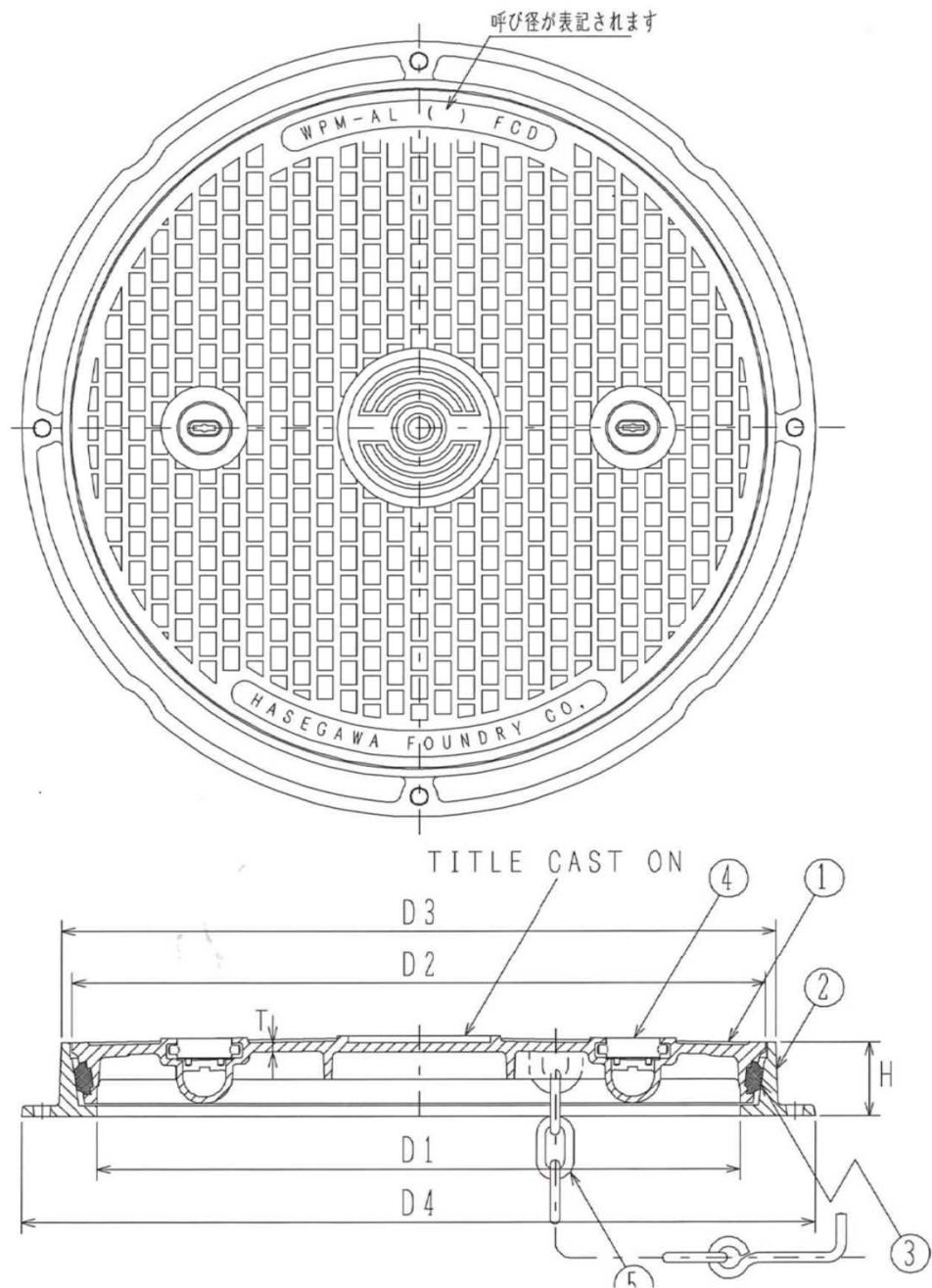
耐荷重

種類	材質	ダクテツ
破壊荷重	200KN	
安全荷重	50KN	

構成部品表

No.	部品名	材 質	表面処理
1	カバー	FCD500-7 ダクテツ	錆止め塗装
2	受 枠	FC200 鋳鉄	錆止め塗装
3	パッキン	CR クロロブレンゴム	—
4	錠 前	CAC202 黄銅	—
5	錠	SBC 丸鋼	電気亜鉛めっき

- 耐老化性ゴムパッキン・丸座型受枠・安全錠及び盗難防止用鎖付。
- カバー上面の耐水呼び圧力9.8N/cm²。
- 取手の個数は4ヶ所です。
- 標準重量 370.0kg
- 蓋の開閉にはハンドルB・工具G・Hをご使用下さい。



耐荷重

種類	材質
破壊荷重	200KN
安全荷重	50KN

構成部品表

No.	部品名	材 質	表面処理
1	カバー	FCD500-7 ダクタイル	錆止め塗装
2	受 枠	FC200 鋳鉄	錆止め塗装
3	パッキン	CR クロロブレンゴム	—
4	錠 前	CAC202 黄銅	—
5	錠	SBC 丸鋼	電気亜鉛めっき

寸法表 (mm)

製 品 符 号	有効径 D1	カ バ ー		受 枠			WGT. kg
		D2	T	D3	D4	H	
WPM-AL 450	450	486	7	505	590	58	36.4
WPM-AL 500	500	543	8	562	640	64	47.0
WPM-AL 600	600	647	9	666	740	70	69.4
WPM-AL 700	700	757	12	780	860	75	91.0

- 耐老化性ゴムパッキン・丸座型受枠・安全錠及び盗難防止用鎖付。
- カバー上面の耐水呼び圧力0.1MPa (1.0kgf/cm²)。
- 取手の個数は2ヶ所です。
- 蓋の開閉にはハンドルB・工具Eをご使用下さい。但しサイズ700はハンドルB・工具Fをご使用下さい。



残骨灰の収集袋

残骨灰の態様について

- ・処理対象は人体残骨灰である。
- ・基本的に、御遺骨は全て御遺族にお引取りいただいている。
- ・収骨後、棺の釘等大きな金属類は、職員が磁石を用いて取り除いている。
- ・その後、形として残っているものについても、可能な範囲で職員が目視で確認の上取り除いており、袋には含まれていない。
- ・残骨灰は二重袋の形態で残骨灰槽に保管されている。

※残骨灰槽は、コンクリートの遮断型（廃棄物最終処分場の遮断型と同等の構造を有している。）

※今回の処理は残骨灰のみである。